

掩体壕跡の 全容解明を

市民団体など
熊本市に要望

戦争遺跡の調査保存
に取り組む「くまもと
戦争遺跡・文化遺産ネ
ットワーク」などは25
日、戦時中に敵襲から
飛行機を隠すために造
られた熊本市東区戸島
本町の掩体壕跡につい
て、発掘調査による記

録保存を求める要望書
を市に提出した。

掩体壕跡は、旧健軍
飛行場から北東約2キ
ロの地点で、今年1月に
確認された。当初は屋
根がない「無蓋掩体壕」
とみられていたが、同
ネットワークが3月ま
でに実施した調査で側
溝やくきが見つかり、
柱を立てて屋根を設け
ていた可能性が高いと
いう。

要望書は、掩体壕跡
が同飛行場に関わる唯
一の遺構であると指
摘。「良好に保存され
ており、学術的価値が
高い」などとして、全
容解明を求めている。
同ネットワークの高
谷和生代表(63)＝玉名

市＝らが市役所を訪
れ、大西一史市長に要
望書を手渡した。大西
市長は「調査資料を見
させていただき、どん
な対応ができるか検討
したい」と語った。
(臼杵大介)

